



平成 30 年 11 月 21 日
佐賀大学理工学部

佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(6)

【概要】

佐賀市の不登校支援機関の適応指導教室「くすの実」にて、理工学部の教員と循環物質化学専攻大学院生らが本年度最後の理科実験教室を実施しました。

【本文】

佐賀市教育委員会の不登校支援機関である適応指導教室「くすの実」で行っている理科実験教室の本年度最終回が、休日夜間こども診療所跡の施設で平成 30 年 11 月 16 日(金)に行われ、循環物質化学専攻の大学院生、機能物質化学科の大学 4 年生が理工学部機能物質化学科長田聡史准教授とともに「紙おむつの仕組みを調べてみよう!!」と題して、吸水性樹脂を使って実験をしました。

生徒たちは一所懸命に紙おむつを解体して吸水性樹脂をシャーレにあつめ、少量の樹脂が数百倍もの水を吸収して行く様子を見て驚いていました。最後に生徒たちはアロマオイルと一緒に着色した水を吸収させることでオリジナル芳香剤を自作しました。

今回が本年度最後の理科実験教室ということで、最後の時間をつかって大学生への質問タイムで交流会を行い、くすの実の生徒さんと職員さんたちから今年度の記念写真が入った手作りアルバムをプレゼントして頂きました。ありがとうございました。



吸水の様子を観察する生徒さん（左）生徒さんと職員さんたちの手作りアルバム（右）